つて地主の内諾を得たが地

圓五十錢とみて坪五



谷易に决定せ が説明をなし

種田營林署敷地問題

然し大体は小學校裏に决する模様

收當時の價格たる反七百五 るが小學校裏及び八幡神社(當日は決定に至らずして 學げて地主ミ交渉中の處小 買收無償貸與するものであ 植田町管林署新築廳舎敷地有地の價格高く然も同地は 西側の雨所を は既報の如 圓即ち坪二圓五十錢を以 校裏田地は小學校敷地買 として委員を 町に於て が政民一致の行動がとれて上本會議にかける事となる もとれぬでも大体は小學校 散會したが追つて再び もあるので實現不可能らし 將來町公會堂建設豫定地で 委員會 を招集熟議の に散會した

れてゐる 内郷の三人組

氏後援會では昨年の御大典 |裏に决定されるものと見ら|田村郡御館村生れ大和芳祐| 石城郡選出代議士比佐昌平 比佐代議士の 天杯披露式 非常な盛會 金かけの賭博開帳中平署員 に踏込まれ逮捕された は二十五日午後四時頃同郡 心郷村宮齋藤國次郎方で現 桶賣今泉留八(二三)の三名 野留夫(二三)同郡川前村下

買され

たるも右は

特別の

事情あり且町

畑地は隣地最近坪八圓で賣 圓となるに反し八幡神社裏

有地とする事とて坪六圓に

て地主古

川氏の内諾を得た

年前に勿谈 たた

創立當時の團長へ感謝

豐間青年團の美擧

利な小學校裏を希望する事 のり且營林署當局も交通便 が然も兩候補地坪一圓の差

とて結局同所に決定するも

甚の地とて政民各兩候補地|時の團長故鈴木藤太郎氏に|は非常に多く鈴木氏はこれ 知くみらるゝが政争激豊間青年團 金一封を添へて感謝狀を贈を悲しみ救護班を設けた為 +は今回創立當附近における海上遭難事故 チ

形勢に あり又政友派 つた放鈴木氏は

旋後は在郷軍人分會長青年 より金至勳章を授けられ凱 日露戦 役に從ひ功に圏は今日」で數回表彰を受觀衆は試合開始前すでに千 けて居る今回 めその後そう難も減じ青年表する猛者揃へのこととて 鈴木氏 に感謝狀を贈の續出に聲援すさまじく何 餘を算へヘファインプレー

の一部には舊學校敷地跡の

町有

にわかれて爭ふ

二百餘坪を割きて敷地たら

團長等を勤めたが當時同村

つたのはその徳に感じてゞ

あ も故人に對し斯くの如き關 2, が二十年前に 杨 V)

スーツと消 の基本金三百

並に比佐代議士の萬歲聲裡でゐるが右は前區長草野某獨占し其上社寺總代の如き 演説を爲し午後四時現内閣つて居るので大騷ぎとなつ 該金の行衛を調べ漸く其の事實もありこれ等の際に費 區長草野彌三郎氏就任以來|郷社及檀徒總代に當選した が保管してゐた筈の金で新は只一人で自選投票をなし 農會代議員、村會議員等を

警鐘を購入する爲め募つた好した模様である は官公有林の巡視手當や野 消費金額高のみ 判明したものでこれ云はれ何れにもせよ 消したものではないかでも

(三五)石城郡水戸村合戸菊|火消火手當金等を貯めた外| は目下極秘裡に調査を開

ヂチー 奥津、根本組優勝 L

昨日郡山市に開催の 縣下都市庭球大會で

時から安積中學校AB兩コ 庭球大會は二十五日午前八 **者松、** 郡山四都市對抗の手に歸し午後四時閉戰同 會主催縣下福島 十分の列車で歸平した チ たが逐に優勝旗は平チ ムは平驛着午後九 時

The last of the second

それを足

―ムは何づれも各地を代|大阪市並に神市地方にコレ トに於て擧行された出場 鑑み平署では管内各町役場犯人を搜索中であつたが二 ラ患者が續發してゐるのに と協力して徹底的豫防策を十五日午後十時頃石城郡飯 △□レラの豫防 頻發するので平署では極力 平町地方に最近盗難事件が

講じつゝあるが殊に沿岸各

むらの中に寢てゐる男の譽

野村地内の夏井川沿岸の草

|住町の某湯屋から自轉車||執行された||こと云ひ去月中東京府下千||聯隊區附岡田少佐出張の上

庭に於て執行官として福島

る然体美を發揮した同村青 も美學さして賞揚されてる一試みる由である 年團 8 あるので嚴重な

る

防を泊明二十七日午前九時から

れる濱三郡長村長會議にない所に隱て居り夜は盗み町第一小學校に於て開催し込み晝の中は人目につか明二十七日午前九時から「輛を窃取して平町地方に入

F 來平

を與へる筈であるが平断で 見町大竹政義方並に石城郡 臨席緊縮方針について訓示を働き去る十七日平町字月

は二十六日歡迎會を開く等夏井村如來寺鈴木積善師方

三見慘殺の

からか 今日平支所に収容 護送のト

大問題なので其の筋たいけな愛見三名を惨殺をしばれ何れにもせる。去る二十一日午前二時頃い して自分も自殺を企てたが 死に切れず 日午後一時十三分から折合悪しき同礦坑夫佐に收容する事となり二十六頃山刀をかい中にして豫て、の關係上一先で平刑務所名と飲酒酩酊の上午後六時 |取調べを受けてゐたが取調午後から自宅に於て同僚數見物人で黑山 | 川島惣季(三五)は二十四日 | 双葉郡木戸村伊勢炭礦坑夫

驛頭見物人で黑山

尚署に於て中谷豫審 判事の 後平區支部豫審に附され富 住諸岡ハナヨ(二八)は其の 「署に於て中谷豫審判事の」は世人事不省に陷らしめた。 「公平區支部豫審に附され富頭は黑山をきついた。」「骨下左はゝ上部に重傷を負いた」。「一八」は其の人を見んとする人々で平驛三郎に切り付け左肩及肩甲に問はれた東京府下龜戶居」ちに收容されたが一時は犯み山刃を振つで夕食中の源は相けれ、て途に殺人罪。平一驛著一列車で護送直。藤源三郎(四五)方に暴れ込指用けれ、て途に殺人罪。平一驛著一列車で護送直。藤源三郎(四五)方に暴れ込

遂に平署員に捕はるれを足に各所で窃盗 窃取し は常に酒ぐせ惡く嫌はれると常に引致取調べ中だが同人 のである 巡査コ取門へいの目下富岡 ので大騒ぎとなり井上駐在

村大字田人字下の坪生れ當 七時三十分から富岡小學校の上取調べた處石城郡田人 兵簡関點呼は二十五日午前動が不審なので本署に引致 岡村龍田村一町二ヶ村陸軍 双葉簡閱点呼 富岡町上

に移動して警察の眼を晦ら

生活し自轉車に積んでは常 林其他人目につかない處に

留治は自炊道具盗み集め山件の窃盗事實を自白したが

から盗みを働いた外四十数

酒クセの 悪い坊夫 同僚を切る

を求めるとなると如何して 紅茶なり一盃のアブサン酒 でくり出すには往復七十六 其處は郊外である。銀座ま

酸の經費が貧弱な後の小づ

しばらくしてから雅子は甘

かひ簿から夫れ雑費として一つたるい紅茶の香りを浴び

それに一杯のながら彼の傍に座った。

マア

ずいぶん煙つばい

ことお火鉢のなかが煙草

の木みたいだは……』

種電機 ラッチ オ 組立

信響ラヂオ商會

阿诺以[[岩

福島縣平町南町二六

消えてゆく、

敢なき惨めさが彼を泥沼に

『ね、お砂糖、いくつお入

つてもいイの?…」

れすればいいんです

なるといふことが鮮明であ

『そんなにお煙草召しあが

ばあるほご洋服細民の果

も三圓ぢか いものがフイに

落して去るのだつた。…

の信條は宵つばりの朝寢坊

スター:

から彼の唯一

のも

ので

ものは完全に紫煙と久方振

日曜日の午後の家庭といふ

ものであるから彼の

りの雨滴の音に占領されて

エアーシップ:

どであつた。

バット…

求めてゐるのであつた。

の家庭訓を沈默の世界から

の女神が彼の憂うつに同情 は書さがりとなつてから春

して泣きだしてしまつたこ的智識を活用し夫婦相和し

匂つた。そしてなほ彼れを

つては灰色な憂鬱そのもの ろうとしたもので彼れにと

一層みじめなものでしたの、論夫の存在を忘れてゐるの

にやつてゐるのだつた。勿

ではなかつたが神經質の夫

に對するときはの主婦の友

訪れを知つて間もない頃の

あったなら絶好の花見曇り

所 謂それが春爛漫の頃で

種族である。

彼にはせつな

と喜んだであらう

カ⁵。

獨身老ではなかつた。

いものであつたそれに彼は

夫

煽 愛 亭 就 て E

大候としてはすべてがもう服綱民の妻として相應しい せず日課のやうにたんねん ヅボンのしは伸しを飽きも 彼女は先刻から隣室で洋

新寫醫學士 竹羽久 菊 清忠 二三番

定價/金四拾五錢、金九拾錢 送料/內地十二錢

特約店人

醫學博士…內野先生實驗 醫師…吉松先生發見⊠論より證據百聞一見に不如

肺、ロクマク、腹膜炎、リウマチス、神經痛治療薬

飲まずに治るコリサ浸透療法現代醫藥界の驚異

用下サイ ・ 諸債券公債類 トスル弊店ヲ精々御利ノ御用ハ是非…迅速簡

大阪市此花區吉野町一丁目 吉松醫完製制 武用樂を浸透療法の小冊子を郵送す 電話大四二

吉松醫院製劑部

へ申込む

課日 金貴 金貴 取他券券 扱金兩融替

平町大工町多 田井 質 Æ

題年記念!!

良品廉價が機械の精密 ○ラデオも生れ「五年 記念 漸くにして完備した

吐きだされる紫煙は幾重に

るまつに味もそつけもなく

三時はお茶の時間なのた。

『奥樣、結構なおしめりで

の室内を漂ふのだった。 も層をつじつて狭い四**畳**学

すよ、それでは京菜をご

把いつものとほりに此處 へおきましたで・・・・・」

なんだか生々しましたで

とニコチンの誘惑に誘はれ

あるところの

二 ム `

シ |

シ | | :

かなっ

『オイ、

雅子、三時だせ』

〇電話にて御用命下さい早速取附に何ひます 同五 同四 同三 高級 級 球品球品球品球 同 同 金六十五圓ョリ 金六十五圓ョリ 金六十五圓ョリ 國同同同同 金百圓ョリ

□看護婦派出 0 需 めに應ず電話三〇七番 め

-

電話下谷五七二二番

店

地方代理店

SI

番店

Ć.

大小日喜富多 昭和五年度の

IJ 美人ポスター レンダー

御早く御注文下さ 見本種々取揃ひ ました

取次迅速質が

貝な

ルトモ柴田書店

▽中元賣出し廣告大勉强 東北代理店工工 ÉII 刷 所

ひら正宗 一等賞受領品源

鹽屋最上醬油釀造元 東京上野車坂四三平町土橋 合公會 電話一〇番二十番

主婦之友、

定價一週分四十錢 十週分參圓五拾錢

平町古鍛冶町(縣社ノ下)

王藥人婦的界世

評會

臺として發明したる理想的藥劑を數ケ年に亘る惡性の子宮病に惱む人を研究此の有名な美神丸を、夫婦仲のよくなる美神丸 BISHINGAN PER CANAL STATE OF THE CANAL STATE OF T

同優等賞受領

知らぬ御方が 法もあります まだあります 無代進呈の方

名四大雑誌に効果が發表になつてあります 婦人俱樂部、婦女界、婦人世界等有 平町六丁目(橋際) 花柳病科專門內臟外科事門 (入院隨意)

科殿四院 電話三のカ番

本箱ミックヱ。御用命はイスとテーブル

「家具店

製造所 平町新田前 電話七三三番